

# 能代山本だより

第45号(観光振興課発行第21号)

こんにちは。大変ご無沙汰いたしました。

10月は、毎週イベントで能代市内は大変にぎわったんです。良いことですよ。

ということを理由に能代山本だよりが大変遅れましたことをお詫びいたします。

10月23、24日の2日間、東京新聞(サンデー号)の取材がありました。

毎週「市名は生きる」というテーマで記事が掲載(1/4紙面)されています。

能代市は11月30日(日)が掲載予定だそうですので、ご覧ください。

**情報** 9/1~10/31まで

**イベント**

## 東京・ローマ4会場で個展 能代市出身の画家・山本さん

能代市出身の画家、山本タカトさんの個展「山本タカト展」が、9月10日から東京都内の画廊など3会場で開催され、さらにイタリア・ローマでもこの個展に連動した作品展が開催されました。

最後の第4会場は11月6日までなのですが、イタリア・ローマのようです。次回は開催前にお伝えしたいと思います。もし、この期間にイタリアに行かれた方はご覧ください。

■第四会場 MONDO BIZZARRO GALLERY (Rome, Italy) 10/4~11/6

山本さんは、独特の耽美(たんび)な絵画表現で話題を集め、現在は幻想画家として国内はもとより海外でも高い評価と人気で、今回の4会場で開催される個展は、これまでの耽美画創作の集大成とも言える展示会です。

●山本タカト

1960年秋田県生まれ。1983年東京造形大学絵画科卒業。91~93年 浮世絵ポップ 様式を試み、94年頃より、発展させ洗練させた 平成耽美主義 様式を打ち出す。耽美小説、幻想小説、官能小説、時代小説などの挿絵のほか、文芸誌や単行本などの表紙絵を担当。現在は、画集の刊行ほか各ギャラリーにて作品を発表している。

東京イラストレーターズ・ソサイエティ会員、国際浮世絵学会 会員。

<http://www.yamamototakato.com/>

## 観光関係

### 散策路に案内標識設置 能代市桧山地区の多賀谷居館跡

桧山まちづくり協議会が、桧山地区の多賀谷居館跡の散策路に案内標識を設置しました。「馬場跡」や「裏門跡」など、かつてのその場所の役割や機能が、ガイドがいなくても分かるようになっています。

### 「バスケの街」「木都」PR/JR 能代駅

開業 100 周年を迎えた JR 能代駅の 1 番線ホームに、「バスケの街」と「木都」を PR する展示コーナーが新設されました。バスケットコーナーには目玉として能代工高出身の元 NBA プレーヤー田臥勇太選手（JBL リンク栃木所属）が着ていたユニホームなどを展示しています。また、リゾートしらかみ号の乗客がフリースローを楽しむバスケットボード脇には秋田杉の柱 4 本を設置し、能代カップや風の松原、役七タのパネル写真を飾り、イベント・観光名所もアピールしています。お帰りの際は、ぜひ、ご覧ください。展示品は変わることがありますのでご了承ください。

## スポーツ

### 田臥選手 リンク栃木に入団 JBL

今シーズンから JBL（日本バスケットボールリーグ）に参入するリンク栃木ブレックスはヘッドコーチに前能代工業高校監督、加藤三彦氏が就任し、能代工業高校出身、元 NBA（米プロバスケットボールリーグ）選手の田臥勇太ほか 2 人の能代工高 OB が契約しています。

田臥選手はは能代工業高校で史上初の 3 年連続 3 冠の原動力となり、高校卒業後に米国の大学に進学、JBL スーパーリーグ（当時）トヨタ自動車 で 1 シーズンプレーした後で再び渡米、04 年に日本人として初めて NBA 選手としてフェニックス・サンズと契約、開幕戦を含む 4 試合に出場しました。

能代工業 OB の活躍を期待します。

## 食

### 東北は作況 102「やや良」 20 年産水稻

東北農政局秋田農政事務所が 20 年産水稻の作柄概況を発表し、10 月 15 日現在の東北地帯の作況指数は 103 の「やや良」。10 アール当たり収量は平年を 15 キロ上回る 570 キロを予想しました。中央、県南地帯は県北を上回る豊作基調で、本県全体での指数は 105 の「やや良」となり、確定すれば平成に入ってから最高となります。

### 店頭でキンダケが出回る

能代市内の青果店や産直施設で、きりたんぼやだまご鍋に欠かせない「キンダケ」（キノコ）が並んでいます。「キンダケ」の正式名称は「キシメジ」で、能代山本では、海岸沿いの砂防林（松林）で採れます。昔は膨らんだ松かさやよせるとたくさん頭を出していたのですが・・・松林の中が混合林になって、砂地に松かさという状態ではなくなったためという説もありますが、最近は取るのも難しくなりました。

市内の青果店では 100 グラム 500～1200 円で販売されています。これからの季節、雨が降った後にたくさん採れて手頃な値段になると良いのですが・・・

## 「地場産物デー」スタート 市内小中学校

地元でとれた野菜を給食の献立に取り入れる能代市教育委員会の「地場産物デー」が10月6日から能代市の小中学校で始まりました。今年度の野菜は能代産のネギ、キャベツ、ジャガイモで、学校栄養士らが調理方法など工夫を凝らして考案したメニューが給食に登場します。

### 1等比率は95.5% 今年産米の検査

東北農政局秋田農政事務所が10月14日に発表した9月末現在の20年産水稻うるち米の検査結果によると、同事務所地域第一課管内（能代山本、男鹿市、潟上市）の検査数量は1万3572トンで、1等米比率は95.5%でした。全県の検査数量は6万1335トンで、1等米比率は96.2%、前年同期比2.2ポイント、前回（9月15日現在、検査数量88トン）より1.4ポイントそれぞれアップしました。今年も美味しいお米がとれましたよ。

## 自然

### 啓発、巡視活動を強化 / ブナ損傷問題

白神山地の世界遺産地域内でブナなどの樹木が傷付けられていた問題を受け、秋田、青森両県や国の関係機関で組織する白神山地世界遺産地域連絡会議が幹事会を開き、再発防止に向けた対応を協議しました。当面の対策として、巡視強化や啓発活動などの実施を確認しました。

マナー向上を訴えるチラシを配布しなければいけないなんて...当たり前なことなのに...

## 行政

### 財調基金4億2205万に

厳しい市の財政状況をお知らせします。

9月補正後の財政調整基金残高は4億2205万5千円（うち一般分2億1838万円）、19年度の9億2477万9千円（一般分2億1335万3千円）、18年度の11億890万5千円（同3億9748万円）に比べ全体としては大きく減少しています。

これは、火力協力金分を他の基金に組み換えたため、全体的に減少していますが、一般分だけ見ても大変厳しい状況です。20年度は国からの交付税の増額で予算が組めましたが、年度末に向け、特別交付金をできるだけ確保するよう努めなくてはならない状態です。

### RC4階建て、来夏着工 能代署新庁舎

県は、能代警察署（日吉町）の庁舎老朽化に伴う建て替え工事を来年7月から着手する方針です。新庁舎は鉄筋コンクリート（RC）造4階建て延べ床面積約3109平方メートルで、現庁舎の約1・8倍の規模を予定。現庁舎の隣接用地（旧第一保育所跡地）に建設し、現庁舎の解体後、車庫棟を設置する計画です。23年10月ごろの完成を見込んでいます。

## その他

### 料亭金勇 静かに幕 創業から 118 年

木都・能代の繁栄をしのばせる老舗料亭「金勇」(能代市柳町)が 8 月 31 日で閉店し、110 年を超える歴史に幕を下ろしました。

国の有形文化財に登録されている建物と土地は市へ寄贈したい意向が示されていますが、市では建物と土地の活用については、寄贈を受けるかどうかも含め、年度内に結論を出すことにしています。

金勇は明治 23 年創業、木造総 2 階建ての建物(平成 10 年に国有形文化財登録)は昭和 12 年の建築で、2 階大広間には 1 枚が 1 畳サイズの空目板を 4 畳半ますに組んだ「格天井」など、今では材料の入手が不可能と言われる天然秋田杉をふんだんに使用しています。

### 「金勇」活用へ議論始まる

10 月 17 日、市中心市街地活性化推進協議会で組織化した老舗料亭「金勇」の活用を考える研究会の初会合が開かれました。金勇を将来にわたって残すべきとの認識で一致した一方、その活用形態については、飲食店運営のノウハウをもった外部資本に経営を委ねる手法や、市の全面的な負担を前提にした提案などがだされました。

### 検討会議で意見一致 「金勇」問題

能代市企画部主催で歴史的建造物市民利活用検討会議が 10 月 21 日開かれました。市内の芸術文化、商工、木材産業、観光、飲食など 10 団体の代表が出席し、料亭「金勇」への対応を協議しました。市の責任で保存・活用すべきとの基本線で一致しました。企画部側は、財政事情が厳しい中、市民と協働で利活用を図ることで「新たな公共施設の在り方」を模索したいとしています。今後数回にわたり会議を開き、金勇の建物を具体的にどう生かせるのか議論を深める予定です。

### 皇居山里門の修復受注 大栄木工

市内木材業者の大栄木工が宮内庁の「皇居吹上山里門修復工事」の協力事業者として吹上山里門の大扉と潜り戸の修復工事を行っています。吹上山里門は今から 400 年前に建てられたという説もある皇居内でも古い建物です。能代の技が活かされて嬉しいですね。

### 調査全地点で下落 地価調査・能代山本

県の今年度地価調査の結果、能代山本は下落傾向が続いており、調査した基準地で上昇した地点はありませんでした。林地を除いた全用途の 1 平方メートル当たりの平均価格は、能代市が 2 万 2400 円で前年度に比べて 5・8%の下落、商業地は全県一、住宅地も羽後町に次ぐ落ち込みとなりました。

### 人口が 6 万 2 千人割り込む

能代市は 9 月末現在の人口と世帯数をまとめました。人口は 6 万 1986 人で、合併後 2 年半で初めて 6 万 2 千人台を割り込みました。前月比 51 人、前年同期に比べると 929 人の減少です。世帯数は 2 万 4628 世帯で、前月比 5 世帯増、前年同期比で 41 世帯減りました。市の住民基本台帳に基づく 9 月末現在の人口は、男 2 万 8964 人、女 3 万 3022 人の合わせて 6 万 1986 人。動態別では、転入 247 人、転出 255 人で前月比 8 人の社会減、出生 28 人、死亡 71 人で同 43 人の自然減でした。

## 高齢化率、26年度35%と推計 / 能代市

今年度策定する市老人福祉計画・第4期介護保険事業計画の基礎資料となる高齢化率や要援護者出現率の見込みをまとめ、第4期計画の最終年度となる23年度に高齢化率32.9%、26年度には35%と推計し、中でも75歳以上の後期高齢者の割合が26年度で人口の2割近くになると予想しました。そのうち要援護者は17%を超えるとしています。

## “ロボコン”能工(Cチーム)制す 県高校産業フェア

第18回県高校産業教育フェア・第15回県高校工業クラブ研究発表大会とロボット競技大会で、県内の工業高校などの生徒が技術や知識・実践の成果を披露し、ロボット競技で能代工Cチームが優勝し、全国大会出場を決めました。同校の全県制覇は第8回大会以来7年ぶりです。

## 「まちづくり会社」設立へ 中心市街地活性化推進協

能代市中心市街地活性化推進協議会は、まちづくりの核となる法人(仮称・まちづくり会社)の設立を目指し、10月中にその準備会を立ち上げることを決定しました。形態は「合同会社」とし、21年4月の発足を見込んでいます。また、廃業した料亭「金勇」の建物と土地の活用を検討する「研究会」を組織し、市に提言することも申し合わせました。

## 8年ぶり100隻台割る 昨年の能代港外航船

能代港に昨年1年間で入港した外航船は86隻で、18年に比べ36隻の大幅減となり、12年以降7年連続で維持してきた100隻台を大きく割り込みました。4万トン岸壁など公共ふ頭への接岸は50隻で4割減、貨物量は輸入の主要品種が軒並み前年比減で、特に主力の石炭の減が響き1割近く落ち込み300万トンを下回り、輸出も半減しました。数量ベースで見ると、輸出入貨物量のうち専用ふ頭が96%を占め、公共ふ頭の活用は低水準にとどまりました。一方、内航船は215隻、移出入合わせた貨物量は37万2372トンで、隻数(漁船を除く)貨物量とも増加しました。

## お知らせ

### 能代観光協会ブログ「能代でらっと情報」

能代山本地域の最新の話題を毎日、ブログで発信しています。

お近くのパソコンでぜひご覧ください。

能代でらっと情報URL [http://blog.livedoor.jp/noshiro\\_kanko/](http://blog.livedoor.jp/noshiro_kanko/)

能代PR大使のみなさんの近況や身近な話題、気が付いたことなど遠慮なくお知らせください。

ファクシミリ	0185-89-1776
電話番号	0185-89-2179
Eメール	kankou@city.noshiro.akita.jp